

当院では2011年に第1回目の「OT 作品展」が開催され、それから毎年11月恒例の秋のイベントプログラムになっており、患者様が作品を発表する場として定着しています。今回の作品は世界文化遺産にも登録された「富士山」をモチーフに選び、認知症病棟に入院されている患者様約57名で制作しました。「富士山」は日本一高い山として日本人になじみがあるため認知症の方でも認識しやすく、また、「手形を押す」という単純作業のみで制作できるため、さまざまなレベルの方に参加していただきました。定期的に集まっては手形を押し続け、155×216cmの大きな富士山の絵を約2カ月間かけて完成させました。

皆様の手形を合わせてひとつの“富士山”をつくり上げたということで、作品タイトルは「みんな手（で）富士山」にしました。（担当 OT: 森 友哉、山崎衣里子）



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



渡辺一弘「電車」

僕は絵を描くことが好きです。特に、恐竜、電車、昆虫等の絵を描くことが好きです。この絵は、電車と富士山とお月様です。電車を塗るのが大変でした。富士山を青く塗るところが難しかったです。絵の枠をはっきりさせたり、色を濃く塗ることにじっくり時間をかけました。これからは、動物の絵を描いていきたいです。